

# 子ども総合センターだより



あした

## 明日もしあわせ通信 (第79号) 令和5年1月号

### みらいはきっとよくなる

あけましておめでとうございます。2023年のスタートです。お慶びを申し上げます。

ここ2年程、コロナ禍もあり、世界中の人たちが不安と忍耐を余儀なくさせられています。昨年、ロシアがウクライナに特別軍事作戦と称して、侵略戦争をはじめたのは、平和の祭典である北京パラリンピックの間隙をぬってのことでした。その開会式、パーソンズ会長が「今は対話と外交の時代であり、戦争や憎悪の時代ではない。世界は共に生きる場で分断すべきではない。」と訴え、両手の拳を固く握りしめ、力強く呼びかけました。「ピース（平和を）！！」・・・しかしながら今も戦争は続いています。ミサイルが飛び交う日常化はあってはなりません。

日本では民法改正が行われ、成人年齢が18歳に引き下げられました。また、「こども家庭庁」の設置が決まり、子どもの権利を保障し、子どもの健や

かな成長を社会全体で後押ししていくための司令塔が創設されました。ここ伊予市では、メタセコイアをモチーフにしたデザインマークが制作され、SDGsの17のゴールに向けた取組を示して、「まち・ひと ともに育ち輝く伊予市」を目指した施策が推進されています。

今年は卯年。安全・温和の意味があり、何かを開始するのにも好転の兆しとあります。子ども総合センターでは、関係機関と連携し、子ども達が健康で安心して生活できる環境づくりに向けた取組をさらに推進していきたいと考えています。虐待・不登校の急増が憂慮される中、みらいはきっとよくなると信じます。子ども一人ひとりに寄り添い、子ども達の笑顔に接したい気持ちで今年も取り組みます。職員一同、本年もよろしく願いたします。  
(K・H)



### ～適応指導教室「はばたき」～

### ～中学3年生へ その気持ちを大切に～

あけましておめでとうございます。今年は7名の中学3年生が来月からの受験を控えています。3年生が必死で勉強する様子を見て、和気あいあいとしていた教室に少し緊迫した空気が流れています。受験生の高校についての会話が飛び交う中で、「中学3年生になったら試験を受けるのか。」「3年生が勉強しているので静かにしよう。」などと下級生なりに3年生に配慮する思いやりの気持ちも見え、異年齢と一緒に学習する良さや大切さを感じています。

先日も中学3年生の一人が、「面接であなたの特技は何ですか？と聞かれたら、どう答えよう。」と言って考え込んでいるのです。それを聞いた1、2年生が「絵を描くこと」「スポーツ」などと思いの答えを言って受験生にヒントを与え、教室全体が自然に面接練習の場になっています。

不登校になって一時は勉強すらあきらめていた子どもたちも、今、入試に向かって必死に頑張っています。何としても「合格切符」をつかんで夢をかなえて欲しい。・・・下級生も指導員も頑張る3年生を応援しています。 **はばたきのTEL 089-989-5022 直通の携帯 080-2974-4581**

## 「よくぞ男に生まれけり」はいいの？



孫と一緒に「ドラえもん」をよく観るのだが、私はしずかちゃんのファンである。とても可愛らしい。話し言葉が女の子らしいからである。「のび太さん、〇〇しましょうよ」「〇〇じゃないかしら？」「〇〇だと思おうわ」「〇〇なのよ」

しずかちゃんの設定は、昭和の小学生なので、当時の話し言葉を反映させているのだろう。



だが、“ジェンダーフリー”が唱和されている令和の今日、「男の子らしく、女の子らしく」は禁忌である。昭和人間の私は「何が問題なの？」と思っていたが、口に出せないだけで苦しんでいる人は現実にいる。

最近、NHK ラジオの「子ども科学電話相談」

を聴いていたところ、小学生の女の子が「なぜ女の子はスカートを着かなくてはいけないの？」と質問していた。スカートが苦痛らしい。回答者は、「今まではそういう社会だったけど、これから変わっていかねければね。」と回答していた。別の調査では、逆に小学生の男の子が「男らしく振る舞うのはしんどい。」と答えている。

かつて「〇〇らしく」は、理想であり努力目標であったが、それは当人が決めることであり、他者が期待したり強制したりするのは当人にとって迷惑なだけだろう。

ところで、私の家内もかつては昭和の小学生であったはずなのだが、しずかちゃんのような話し言葉は久しく聞いていない。

(b) ナイヨガヨ… (T. K)

### 《センター長のつぶやき》

#### 最近の読書(6)「瓢箪から人生」

夏井いつき 著 2022年8月発行

あけましておめでとうございます。正月からこの本を紹介でき、めでたいことである。

夏井さんの「1時間目からぶっ通しで授業し、4時間目の授業もそこそこに給食指導。生徒と給食を掻き込み、職員室に戻ると事務処理やら午後の授業の印刷やら生徒が質問に来るやら「〇〇君が暴れます」やら、休む暇もない」との記述に、おおいに同感し微笑。

夏井さんは、教員退職後、俳句集団「いつき組」組長として全国での「句会ライブ」、「俳句甲子園」のたちあげ、NHK「俳句王国がゆく」、「夏井いつきの一句一遊」、NHK紅白歌合戦審査員、「徹子の部屋」、「プロフェッショナル仕事の流儀」、「575でカガク!」、「プレバト!!」出演。

そして、俳壇賞、種田山頭火賞、日本放送協会放送文化賞など受賞。初代俳都松山大使等々活躍をあげればきりが無い。出会った人たちとその後の人生を豊かに紡いでおられる様子が綴られている。「瓢箪から駒の人生を歩んでいるようでも、実は夏井さん自身が輝いているからこそだと思う。

読み終わると、俳句が身近になり元気をいただいている。

なんとすばらしい人生なのかと。

瓢箪から 人生へと 冬北斗 DOIG



### 《発達支援巡回相談》

#### コロナの影響 その③

保育に携わっておられる先生方は日々、子どもに関わる通常の活動があります。その上に感染対策で消毒、換気、健康チェック等細かな仕事が増えています。先日、巡回である園を訪問した際、園長先生から報告書がコロナ関係で増えていること、職員が濃厚接触者になった場合、保育に入る職員の調整をしないといけないこと等、普段の保育でも大変な上に煩雑なことが増えている現状を耳にしました。園長先生をはじめ先生方は多忙を極めています。それも3年もの間ずっと…。

子どもには何より安心感が必要です。そんな中でも不安で暴れたりする子をギュッと抱きしめたり、泣き叫んでお昼寝をしない子をおんぶして寝るまで付き合ったり保育に向き合い子ども達の安心感を守っている先生方の姿には頭が下がる思いです。早く先生方も安心できる日常になることを願ってやみません。(A)



#### 伊予市子ども総合センター

伊予市尾崎3-1

☎989-6226

(伊予市総合保健福祉センター2階)

